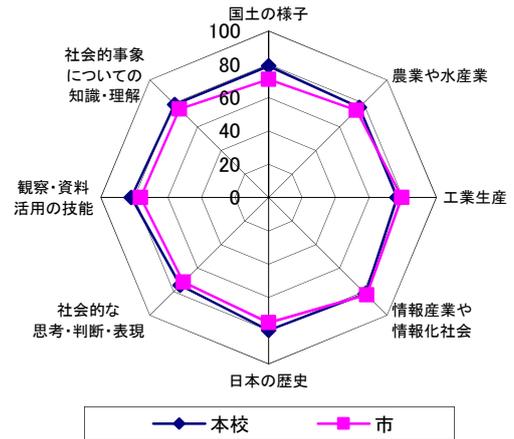


宇都宮市立海道小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	79.0	71.0	69.4
	農業や水産業	76.7	74.0	69.0
	工業生産	76.7	79.4	75.4
	情報産業や情報化社会	81.7	82.8	88.7
	日本の歴史	79.7	75.2	72.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	74.6	71.9	67.2
	観察・資料活用の技能	81.9	76.3	70.7
	社会的な事象についての知識・理解	79.1	75.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	平均正答率は79.0%で、市の平均より8ポイント高い。 ○世界の中の国土の問題は、高い正答率だった。特に、日本周辺の海洋名の問題では100%の正答率で、市の正答率を20.5ポイント上回った。 ●国土の主な山脈、川、平野の名称を回答する問題は、市の正答率より3.5ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・世界や日本の国土については、プリントやミニテストを繰り返すことにより、知識として定着させるようにする。 ・公害や自然災害については、生活と関連させて興味・関心を高めていくようにする。
農業や水産業	平均正答率は76.7%で、市の平均より2.7ポイント高い。 ○稲作の工夫や努力についての資料を読み取る問題では100%の正答率で、市の正答率を11.8ポイント上回った。 ●日本が食料確保においてかかえる問題を資料を読み取る問題は、市の正答率より12.6ポイント下回った。	・日常生活の中で、日本の農業や水産業に関するニュースを取り上げ、考えさせるようにする。 ・資料から、社会的な事象を調べたり考えたりする指導を多く取り入れ、思考力・判断力を育てるようにする。
工業生産	平均正答率は76.7%で、市の平均を2.7ポイント下回った。 ●工業製品を、工業の種類別に分類・整理する問題では、市の正答率より5ポイント下回った。	・資料やデジタル教材を用いながら、資料やグラフを読み取る力を育てるとともに、資料から社会的現象を考える指導を多く取り入れ、思考力・判断力・表現力を育てるようにする。
情報産業や情報化社会	平均正答率は81.7%で、市の平均を1.1ポイント下回った。 ○情報ネットワークの活用でサービスの向上に関する資料を読み取る問題では、市の正答率を5.6ポイント上回った。 ●生活の中での情報手段について理解する問題は、市の正答率より7.8ポイント下回った。	・日常的に、情報産業や情報化社会に関するニュースを取り上げ、考えさせるようにする。 ・情報産業や情報化社会についての知識を確認し、定着を図るようにする。
日本の歴史	平均正答率は79.7%で、市の平均より4.5ポイント高い。 ○江戸幕府に関する問題では96.7%の正答率で、市の正答率を29.9ポイント上回った。 ●聖徳太子が定めた十七条憲法の目的に関する問題は、市の正答率より6ポイント下回った。	・グラフや地図などの資料と歴史事象の関連性を図りながら理解するよう、根拠となる資料提示を工夫して指導する。 ・日本の歴史に関する興味・関心が高い。今後も、基礎基本の学力が定着するよう、既習の学習を振り返る場を計画的に設け、知識の再構築を図るようにする。